

編集後記

巻頭言での理事長のお言葉にもありましたが、2022年1月以降、第6波の新型コロナ感染拡大を受け医療現場も再び逼迫状態にあります。感染症による自宅療養者も増加しており、ワクチン、治療薬および療養環境の整備が急がれる状況に、医療現場および地域で任務にあたる私たち看護職の役割と責務が問われています。

さて、今年度から、東邦看護学会誌、編集委員会は数名の委員が交代し、11名で担当いたします。また、岸恵美子委員長に代わり、藤原和美が委員長を務めさせていただくことになりました。

編集委員会は看護学の発展に寄与する質の高い学会誌を目指します。しかしながら、編集委員長としては不慣れで力不足の点が多々あるかと存じます。学会員の皆様、編集委員の皆様にはご指導、ご協力を賜りますよう、どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

本誌第19巻2号には、原著1編、研究報告1編、実践報告3編、資料1編の計6本の論文を掲載しております。感染拡大で業務が多忙な中、査読者の方々には、建設的で丁寧なご助言を賜り感謝申し上げます。著者の皆様は、助言を真摯に受け止め、論文の修正と推敲を重ねていただき完成度の高い論文になりました。会員各位には、今後も引き続き、本学会誌への投稿と査読へのご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

藤原 和美

編集委員会

委員長 藤原 和美 (東邦大学看護学部)
委員 藤野 秀美 (東邦大学看護学部)
成澤 明 (東邦大学看護学部)
中田 かおり (東邦大学看護学部)
岡本 恵子 (東邦大学看護学部)
芳澤 正子 (東邦大学医療センター大森病院)
山田 亨 (東邦大学医療センター大森病院)
工藤 智佳子 (東邦大学医療センター大橋病院)
徳井 有里 (東邦大学医療センター大橋病院)
原田 洋平 (東邦大学医療センター佐倉病院)
早川 未来 (東邦大学医療センター佐倉病院)
